（明治三十一年十二月三十日第三種郵便物認可）（日刊）日曜及祭日の翌日休刊　明治四十二年九月十七日（金曜日）　第二百十六號　（一）

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

●韓鐵經濟の前途（四）
（某當局者の談）

上述の客貨賃率が果して韓國鐵道に適當なりしや否やは世の判斷に任せ鐵道利用の觀念なき韓民及一部内地人の企業者を相手に運輸營業の施設を行ひ旅客の勸誘、貨物の吸收に努めたる當局の苦心は容易ならざるものなり斯る至難なる經營の下に得たる過去十年間に於ける各年一ケ月平均營業成績を擧ぐれば左の如し

	旅客人員（人）	貨物噸數（噸）	一日一哩平均收入（圓）
京仁線			
卅二年	一〇、九七六	三五六	七、三九三
卅三年	一七、九九九	九〇七	一二、三八五
卅四年	二九、五五一	二、四一五	二〇、四七五
卅五年	二六、一六〇	四、六八九	二三、七三九
卅六年	四〇、三六三	五、九八四	二六、七七四
卅七年	五八、九九九	一三、五五七	五〇、六六七
卅八年	五七、〇三三	七、八七五	三九、九五四
卅九年	六二、五三九	六、九三四	四四、五七五
京釜線			
卅七年	一八、〇八二	二、八三三	六、六七〇
卅八年	一五八、四〇三	六、六三三	九、五五〇
卅九年	一四、三八〇	一〇、一二七	一四、二七五
京義線			
卅八年	二六、六二八	一、三九一	五、四七六
卅九年	三三、七一八	二、三三〇	六、四五七
馬山線			
卅八年	三、五九六	一七四	三、〇〇六
		一四四	三、一二九
（以上は國有前）			
全線			
卅九年	一九三、七五六	二七、六七二	一三、一一三
四十年	二六八、八四四	三三、五九八	一三、九四二
四十一年	一八二、〇六一	六二、四七四	一六、八九九
（以上は國有後）			

右に因て見れば卅八年京釜線開業の爲め京仁線の成績をして不順ならしめたると四十一年度に於て旅客人員を減じたる外退歩の狀態なきのみならず四十二年以降は世界的不景氣の影響に拘らず年々一割五分乃至五割の間を昇降しつゝ成績を增進し來れり近頃韓鐵を悲觀する者あるも是は畢竟杞憂に過ぎざるなり尤も收益勘定よりすれば年々缺損を生じ四十年度迄は國庫の補助を受けたるも既に四十一年度に至りては兎も角自活の域に進み得たる次第なれば決して悲觀すべきに非ず殊に這般一大改革を行ひ經營の節約に勤め着々整理を行ふべきを信じて疑はず

●元山の商況（一）
（八月中）

八月中に於ける元山港商況に關し同地商業會議所の調査報告に依れば左の如し

▲砂金　は案外産出增加を爲し取引亦随つて多く約十貫目以上に達したり

▲甲銅　は極めて不況にありて地方よりの出廻りは僅に三貫目のみなり

▲大豆　は賣行良好にして廻荷至て尠く一般に閑散を極めつゝ經過せり

▲明太　は北韓航路に商區域を蠶食せられ取引沈靜十二圓八十錢に低落す

▲海參　干蝦とも降雨連日に渉れる爲め取引者無にして稀有の不況を呈す

▲干鰯　は兵庫東京地方の需要ありたるも品少の爲め概して不況に了れり

▲木綿　は韓盆前なるも賣行不良にして月末稍々活氣ある取引ありたる耳

▲天竺木綿　は弗々賣行く而て値段は三圓二十八錢より十二錢方下落す（未完）

俳句

●鹿十句　千春

肩入らぬかめ風呂寒し鹿の聲

松明振つて圓見せけり鹿の宿

鹿鳴くやこゝろに盡く夜の山

神代めく荒木造りや鹿のやど

衛士が焚く火の哀なり雨の鹿

禿筆を驅れる法師や鹿のこゑ

鞍されば月洩るかべや鹿の宿

鹿笛の上手を母の寄せけり

旅なれぬ枕つめたし鹿のこゑ

啼かずとも秋なり鹿のたち姿



第五十三席　桃川燕玉演

そこで竹内式部が『それに就ては京都に願つて朝廷から御許しを蒙むる、さすれば謀叛人の汚名は決して取りません、京都の方は拙者が宜しく御引受申す』竹内式部が自分の弟子で岡本陶庵と云つて、京都の二條に醫者を致して居りまする、此者へポーンと便りを致しまして、そこで岡本陶庵が徳大寺殿へ密に參つて、竹内式部が當時竹内松庵と名を改め江戸表に居ります、山縣大貳、藤井右門、是等の者が打寄りまして斯樣々々と申上げたから、徳大寺殿殊の外に御喜び『扨は式部今以て勤王の志操ます〳〵徳川幕府を倒さんと苦心を致す、如何にも喜ばしい、愈々と云ふ時には麿が天朝へ申上げ、徳川將軍追討の綸旨を申下して取らせる、之を式部大貳等に遣はせ』と一枚の短冊を陶庵へ下すつた、之を持て早速江戸表へ馳下つて、竹内藤井山縣等に對面をして委細を告げ、右の短冊を出しました、一同押戴いて見ると

　われは忘れ草忘るゝ種のありもすれ
　忘れぬ昔なりける

と云ふ徳大寺殿の御認めになつた歌、之を聽いて一同大いに勇み立つて、然れば愈々事を爲す時には、徳川追討の綸旨は公然徳大寺殿から天朝へ願つて下し置かれる、大義名分少しも天下へ耻づる所はないから充分倒して除けやうと云ふ、そこで織田美濃守殿並に御親戚、或は上州小幡の御領分の有志、追々人數が集りまして、彼れ此れ其黨中に加はりました者が三千人ばかり出來ました、追々謀計が茲に熟して參りました所が何分徳川の武運盛なる時勢、是が成就致しませぬ、と云ふのは當時御老中を務めました阿部伊勢守、此御方がなか〳〵の才子である、或時御家來の内藤源次郎、今村源六と云ふ兩人を御召し遊ばし

伊『其方共は山縣大貳と申す者方へ出入りを致す由、だが左樣か』兩人『御意でございます、學の指南を受けに通學致しまする』伊『彼大貳方に出入る者はどう云ふ人物が出入るか』兩人『左樣でございまする、藤井右門、或は高橋文冲と申す醫者、乃至小幡の織田殿の家來吉田玄蕃、是等の者多く出入りを致しまする』伊『何か汝等が怪しいと認めた事はないか』兩『別段ございませぬ』伊『左樣か、予が心得に、大貳と申す奴はどうも心得難い所がある、汝等大貳方へ參つて能く事情を取調べ、不審の廉あらば早速予に告げまするやう、確と申付ける』兩『委細心得ましてござる』今村源六、内藤源治郎、續いて茂山彌左衛門と云ふ三人、是から大貳の方へちよく〳〵足を近く出入つて頻りに樣子を見、且は自分達もどうも阿部伊勢守の家來で生涯碌々と終りたくない、どうも徳川家の仕打が氣に入らん、王政復古の榮を見たいと不平を鳴らし、遂に大貳の一味にボーンと加つた、さばかりの山縣大貳が隙者とは心付かず黨中に加へましたのが、是がどうも過ちだが仕方がない、明和の三年十二月の末だ、大貳の一味の中に佐藤源太夫、桃井九馬、宮澤甚藏と云ふ三名の浪人がございます、黨中多くは諸藩の家來乃至公儀直參の御家人などもございまするが、此三人は無祿の浪人で、今日の生活もなか〳〵樂には參りませぬ、そこで此三人が打揃つて大貳の方へ來て『扨て大義もうこれ近々に事を起す、就きまして吾々用金に甚だ差支へる、何とも恐入つたが吾々三人に百兩づゝ御調達を願ひたい』宜しいと云つて大貳が三百兩出せば宜かつたのだが、さて其頃の三百兩と云つては大金でございます、何しろ容易ならぬ大事を企てる何程有つたつて足りるものではない、大貳も少し差支へた場合があつたものと見ねて

大『イヤどうも只今御手前達へ三百兩と云ふ金を用立てる譯にはいかぬ、愈々事を發する場合には鎧、兜、或は打物萬端此方に用意してあるから、別段金の入用はあるまい、兎に角今日は氣の毒だが御前方へ一錢も用立てる譯にはいかぬから』と云つて手嚴く斷つた、斷りやうがちと穩かでございませぬから、三人は勃然として其處を出で、つい氣合の惡い時は酒でも飲むと氣が霽れると云ふ所から、此三人が神田の小柳町の桃井九馬と云ふ人の處へ集つて、三人酒を飲みながら不平を訴へた

△『昨日今日黨中へ入つた者を大分やれこれ云つて、從前から苦心を致して居る吾々を、何だか知らないが此頃は除者にして、止すなら止せと言はんばかり、今日大貳の奴どうも口上が甚だ氣に入らぬ、忌々しい奴は山縣大貳』

▲『ご醉つた紛れに不平を鳴らすと一人が各位は心付くまいが、此間會議の時何だか胡散くさい奴が二三人居つたが、事に依つたら公儀の間諜ではないか、どうも倩々考へるに是は迚も成就はしない、二百有餘年打續いた泰平、徳川の磐石の如き天下を二千や三千の浪士が集つてどうして事が成就するものではない、どうも今日大貳の樣子を見るに、あんな事で成就するとは思ひもよらん、過つて改むるに憚る事はない、是は吾々三人返忠をして、大貳其他を召捕つてしまつた方が却つて天下の爲だ、罪無き人を多く殺すやうな事があつては天下へ對して濟まぬ、成就する事なら兎も角もどう考へても迚も成就する氣遣ひはないから、是は早々訴へやう……



美術半衿帯上帯締其他紐類各種 京城明治町一丁目 ゑり徳商店

京城新報

大國民の先驅

愛する大和民族よ、我ありて勇める日本國民よ、卿等は雄大なる膨脹力を有す三千年來の歷史は明に之を證す、然るに未だ島國內に蟄居して國外に多くの發展を見ざるは誤れる爲政者の爲めに其雄心を控制せられたるが爲也、明治の聖代に至りて國民の雄心は燃へ來りて遂に一大飛躍の時は來れり卿等が天の使命を完ふするの機會は今なるぞよ、天帝が我等大和民族の耳に囁ける聲に非ずや。

大國民たれ、東洋文明の宣傳者たれとは日本國民に對する天の暗示也、然り之れ獨り天の暗示たるのみに止らず、世界の大勢東洋全局の趨勢よりするも、日本國民は將さに此抱負を以て奮起せざる可らず、今は徒に國內に蟄居して政權爭奪や、內輪爭ひの如き蝸牛角上の爭ひをなすべき時にあらざる也、擧國一致して東洋文明の宣傳者たるの使命を果さゞる可らず、若し夫れ國民各自に此抱負あらば帝國の國勢は振はざらんとするも豈夫れ得可けんや。

而して我國民各自に果して此抱負を實行するに適當の資質を有するか、換言すれば大國民たるの宏量と大なる寬容を有するか、所謂島國的根性を能く脫却して淸濁併呑の雅量を有するか、斯く考へ來れば何ぞ此大使命を有することを自覺しつゝ官民共に常に宏量を缺くの嫌ひあり、既に立憲政體を採用し、官民は常に和協すべき筈なるに事實は往々反對の傾向を現はすが如きは全く相互に大國民たるの宏量を缺くが爲ならんか、玆に於てか大國民たるの氣風を養成するの急務なるを感ぜずんばあらず、後藤新平男が臺灣民政長官たりし時に大國民の唱歌を作りて謠はしめたり、吾人は更に專ら國民に作曲せしめて廣く之を頌布すべしと云ふ、[illegible]

滿韓在留の同胞は大國民の先驅也、大陸經營文明宣傳の重任を負ふ、其任や頗る重大一言一行も苟もすべからず、是を以て滿韓在留の同胞は須く宏量ならざる可らず、文明の先覺者を以て任ずる日本國民として淸韓人に對する擧措に於ても須く愼重を要す、而して其範を示さゞる可らず、而して彼等を待つに懇篤なる友誼を以てし、敎師の生徒に對するの心掛けなかる可らず、寬大の待遇は旨とするも敎師の生徒に對する秋霜烈日の態度は亦缺く可らず、扶導開發の要は此間にあり、大國民の先驅たる我等在留邦人は常に此考を以て扶導開發の任に當らざる可らざる也。

東京電報

▲愛國總裁の令旨

愛國婦人會總裁閑院宮妃殿下は同會々務の紊亂に就て紛擾鎭靜なきを愛慮遊され幹部に對し內部の弊害を芟除し會務の發展に努力すべき旨御沙汰を賜はりたり(十五日午後八時發)

▲政友紀念大會

本日午前十時より政友會紀念大會を同會本部に開會したり出席者は代議士各支部代表者等七百餘名にして西園寺總裁、原總務其他數氏の演說あり政友會萬歲を三唱して散會し夫より一同は上野精養軒に於ける園遊會に臨めり當日の來賓は元老大臣德川貴族院議長千家牧野堀田林阪谷松岡等の前閣員及末松金子[illegible](同上)

▲政友大會の椿事

本日政友會紀念大會開會前九時半同會の所屬壯士川上行義(五四)と同壯士田尾彌藏との間に些細の問題より大爭論を惹起したる結果川上は白刃を振ひて田尾に切り付け重傷を負はせたり被害者田尾は直に慈惠病院に收容し治療を施こしたるも遂に午後絕命したり是が爲めに一時非常の混雜を極む(同上)

▲日貨排斥と學生

淸國留學生は日貨ボイコット運動の形跡あるを以て淸公使は使に對し嚴重に戒飭を加ふべく訓令し來れる由(同上)

▲桂財政方針演說

昨十五日夜全國手形交換所聯合大會を東京銀行集會所に開き晚餐會を催ふし其席上に於て桂總裁は大要左の演說をなせり

桂首相演說

本職は全國金融機關の樞軸を握れる手形交換所聯合會に於ける其晚餐會に招待を受けたるを幸ひ四十三年度財政方針に就て其計畫を披攞すべし是れ四十三年度の豫算の基礎とする處なり先づ其方針を立て豫算を編制し

第一 財政は收支の均衡を計り國民全般に涉る[illegible]べし

第二 四十三年度の國債償還額は本年度より增加し五千萬圓となる計算なり即ち[illegible]剩餘金を繰り入るゝ[illegible]增加する割合なり

第三 官吏增俸は[illegible]三割を標準として之を行ひ其財源は各部の經費節約を以て之に充つる計畫なり

而して財政方針は昨年決定せる方針と變更なく各位の御賛同を得て之を遂行せんと欲す

松尾日銀總裁演說

現時の金融狀態に就き世人は彼是と杞憂を爲するものあるが決して懸念すべき傾向なく金融の斯く緩慢なる所以は[illegible]にして活動期は正さに[illegible]

右演說は非常の注意を惹き孰れも拍手して[illegible](十六日)

▲日糖債權者會開會

昨日午後二時より六時に涉り日本精糖會社債權者會を開き藤山社長より左の整理案を提出して說明せり

一、優先株發行案 無擔保債權額三百三十万圓を優先株に引直し無擔保債權者に交付する方針

二、年賦償還案 百九十萬圓の財團を作り四十三年六月迄に無擔保債權三百三十萬の二割を仕拂ひ殘額は十箇年間に按分を以て償却する案

右に對し質問續出し何等決定なく散會本日午後更に債權者會を開き其結果第二回を開きたり多分第二案採用せらるゝに至らん(同上)

▲騎兵旅團長更任

本日左の通任命あり(同上)

騎兵第二旅團長陸軍少將 田村久井

免本職後備役被仰付

任陸軍少將補騎兵第二旅團長 陸軍騎兵大佐 杉浦藤三郎

▲岡村書記の昇任

本日左の任命ありたり(同上)

統監府鐵道廳書記 岡村正雄

任統監府鐵道廳事務官補(高等官七等)

▲米穀取引所開市

松辰の買煽りの爲め過日市場取引中止を命せられたる東京米穀取引所は昨夕迄に證據金全部完納市場開始本日中に決定すべし(十六日)

▲銀行家の懇親會

昨夜全國組合銀行聯合懇親會を開催桂首相臨席して來年度豫算に付一場の演說を爲せり(同上)

雜報

●韓國の產馬事業

牧草並に牧場等の關係よりするも氣候風土乃至輸送上の關係よりするも韓國に於ける產馬事業が當然勃興すべくして而も振はず彼の物論譯々たりし競馬問題の如きも京城其他適宜の位地に於て之れを擧行したらんには內地の如く刑法問題の伴ふなく至つて圓滿に行はるべきに拘はらず是亦其弊だに聞こへざるは不可思議ならずやとて目下渡韓の途にある大同派の安達謙藏氏は同派の淺羽靖氏等と謀り同國に於ける產馬事業上特に調查する處あるべしとのことなるが本問題に對しては馬政局に於ても久しき以前より調查中の由なれば追て何等かの發表を見るならんと云ふ

●第一回漁業實地調查

漁業法に依る免許出願件數は現今四千七百餘件に達し此內實地調查を遂げたるものは第一回調查に於て千二百餘件なるが其他は最近の提出に係るものなるにより漁業者の便宜を謀り此際第二回調查として差當り濟州島及び慶尙北道江原道咸鏡北道の各地へ主任技師其他を派遣せしむる豫定にして尙從來調查せし分の結了次第更に第三回の調查員を派遣せしむる豫定なりと云ふ

●警察部長會議(第一日)

警察部長會議は昨十六日午前九時より中樞院內警察官練習所分室に於て開催されたるが先づ朴內部大臣は大要左の訓示を與へ(新庄書記官通譯)次で岡次官、松井警務局長の詳細に涉る訓示演說あり夫れより松井局長は更らに指示事項(一)巡查の監督に關する件(二)巡查相互間の聯絡(三)巡查の警邏に關する件(四)巡查の非常準備に關する件(五)巡查須知簿に關する件(六)巡查の功過(七)巡查宿直に關する件(八)駐在所の設備に關する件(以上警務)(九)結社に關する件(十)高等警察に關する報告に關する件(十一)僞造紙幣貨幣取締りに關する件(十二)寄附金募集取締りに關する件(以上保安)其他公表すべからざる事項に就き指示する處あり午後より會議に就きての打合せを爲し午后四時散會したるが列席者は木內農商工部次官、藥師川憲兵高級副官、加藤同副官其他關係官廳の各高等官等なり

朴內相訓示要項

今回諸君を召集し茲に會議を開くに至りしは地方官々制の改正と警察制度の革新以來殆んど二年に及び此間に於て諸君の實驗上に於ける意見を聽取し且本部の希望をも述べんか爲めなり

今本大臣は左に警察上に對する希望の要點を擧げ諸君の注意を乞はんとす

一、地方暴徒は漸次鎭靜に歸せんとするは國家の爲め誠に喜ぶべき事にして從來鎭定上に就ては警察官は屢々危險の間に出入し其勞苦は大に多とする處なり

二、民衆に對する警察の働きは地方に依り其風俗人情を異にし且古來より因襲の久しき慣習等ありて之れに對し緩急宜しきを得たるは頗る難事に屬せり然るに近來地方人民は著しく警察を信賴する狀況なり彼の種苗法の實施の如き克く普及するに至りしは其一例證なりとす

警察は顧問時代より改善の端緒を開き爾來制度の革新を經て今日に及べり既往四五年間に於ける成績は大に見るべきものありと雖も尙警察機關の設備不十分なると運用力の乏しきとは諸君と共に當局の最も遺憾とする處なり當局は財政の狀況に照らし相當經營劃策する處あれば他日擴張の期あるべし

又韓人警察官は警察上の經驗に乏しき爲め諸君の苦慮は察するに餘りあれども幸にして諸君の盡力の結果其成績は多少見るに足るべきもののあるに至れり尙指導教養せられんことを望む

郡守と韓人警察官の關係は從來調和を欠ぎ動もすれば相反目するの傾向ありしが近來其弊を見ざるに至りしは全く諸君の指導善しきを得たる結果ならんと信ず

先に述べたる如く暴徒は今や漸く滅絕に至りたるも尙出沒の地方少からず斯る地方には一層鎭滅を期せんことを望む蓋し行政全班の施設經營は其鎭定を俟つにあらざれば完備せられざればなり尙事務上に關しては詳細なる事項は次官、警務局長の訓示に依り承知ありたし諸問案に就ては十分の意見を述べられたし

●地方費會計規則制定

地方費の實施と同時に發布を見るべき地方費會計規則は內部度支部兩部の間に於て意見の相一致せざるものありて愈々折衝を重ね居たるが此程漸く議纏まりたる由にて目下閣議に提出中なれば不日之れが制定發布を見るべし

●聯合會の第一日

日本人商業會議所の聯合會は既報の如く一昨十五日より開會したるが同日は議案の整理を以て閉會を告げ昨十六日は度支部より鈴木次官代理藤原理財課長の二氏臨席して鈴木氏の演說ありたり其內容は度支部の施設經營に關する現在及將來の方針、鑑定價額、輸出稅に關する意見、金融機關に付ては各銀行、地方金融組合、韓國銀行の方針等にて韓銀は第一銀行の從來よりも多くの便宜を與ふべしと說きたる由にて夫より各議員の質問に答へ午後に至りて本會議に移り四時退散せり

●輸出稅全廢問題奈何

韓國の輸出稅全廢に對する將來に就き鈴木次官代理は昨十六日の商業會議所聯合會に臨みて其方針を說きたる由なるが今日の韓國に於ける關稅は各國との協定に基くもの多きを以て其の期限到着の時にあらざれば改廢し得ずと雖も外國に關係なき事項に就ては爲し得るだけの便宜を與ふべしと

●商議聯合會議事方針

從來商業會議所の聯合會に於ける議決は或る事項に對し單に議決にのみ止め置くものありて其の實を得ざること多かりしを以て今回は特に愼重の態度を取るべき筈にて特に官邊に對する事項の如きは双方共に說明を開き其の關係を密接ならしめ以て成蹟を擧ぐる方針なりと云ふ

●日本豊作と韓米

東電の傳ふる處に依れば日本本年の米作は六千万石にして平年の四千五百万石よりは一千五百萬石多く開闢以來の豊作なるを以て韓國の輸出米に及ぼす影響は蓋し至大のものあるべし而して日本人一人宛の食料米は一石とせば五千万人の人口に五千萬石を要する勘定なるが平年日本產の米にて日本人の供給に不足する額は二百萬石の由なり而して韓國米が日本へ輸出せらるゝ高は玄米八十六萬七千七百五十二擔(一擔八百斤以下倣之)此代金三百三十九萬二千三百八十八圓、精米二十八万九千三百十三擔此代金百三十萬五千八百二十八圓にて支那方面(特に滿洲)へは玄米五百九擔此代金二千百二十一圓精米二十二萬九千七百四十三擔、此代金百十六萬〇五百三十一圓にて浦鹽へは八萬六千九百五十八擔此代金四十四萬六千六百〇七圓にて之れを百分比例にすれば其七十は日本に輸出し二十は淸國方面に十は其他の諸國へ輸出せらるゝものなり然るに本年日本の豊作は每年不足せる分の二百万石を七ヶ年分補足したる譯なれば韓國米の輸出も隨つて大なる打擊を受くるものと見ざるべからず去れば日本への輸出米は如何なる方面に向けらるべきや機敏なる商人は固より爰に着目せることならんが目下の場合に於ては先づ滿洲に其華主を擴張するは最も手近きものなりと誰も百分の七十まで日本に向ひつゝありたるものが全然之れに差向けらるゝを得ず韓國米本年の輸出は頗る考慮を要すべき問題なりと云ふ(京通)

●淸領事館增設說

淸國政府は今回の日淸協約により間島の領土權を獲得せるが一方韓國政府にては淸津港を開放して間

●實業學校の近況

仁川實業學校の近況を聞に生徒總數百三十五名にして教室の狹隘を感ずるに至りたるより目下新校舍建築中にて兩三日中には竣工の豫定なれば目下臨時生徒募集中なりと云ふ因に同校生徒は仁川に居住する者極めて稀にして他は淸黃海及び濟州島附近より來り卒業後は主に財務署主事に採用せらるゝもの多しと

●仁川石炭の現況

仁川石炭界の現況を聞くに目下は內地に於ても現品潤澤を告げ三割方採堀を手控へ居れるが如き際とて一般に不況を傳へ現今の相場一噸十圓より十一圓迄の間にして賣行は鈍しと雖も漸次季節向と爲りたれば好況に向ふべしと云

●仁川病院の一掃

仁川民團立病院內に於ては暗鬪の絕間なく紛紜を極めつゝありしが昨日森元副院長及び生駒幹事は辭表を提出して茲に圓滿なる解決を告げたれば目下是れが後任者を選定中なりと

●兵器本廠長入京

既報の如く陸軍兵器本廠長陸軍少將押上森藏氏は駐韓軍兵器に關する用向を帶び昨朝入京し京城ホテルに入り滯在日數は三日間の豫定なりと

●黑岩技監の巡視

農商工部技監黑岩休太郎氏は今回雲山、熙川及び鏡城より新義州、鴨綠江沿岸、順安(砂金)等を巡視すべく約一ヶ月の豫定を以て十五日出發す

●大內代議士入京

進步黨非改革派の取務調查員たる代議士大內暢三氏は一昨十五日入京し京城ホテルに投宿したりと

●獨乙軍艦の入港

獨逸東洋艦隊巡洋艦シャロンホルスト及び同巡洋艦アルトキー號は來る廿一日仁川入港する旨電報あり

●新任領事着任期

在草梁支那領事賈文氏は今回仁川駐在領事に轉任を命せられ來る二十四五日頃に來任すべしと云ふ

●平壤新聞の發刊

既報の如く平壤新聞は一昨十五日を以て初號を發刊したり定價一ヶ月金三十五錢發行所は同地壽町の同社

●松井局長の招宴

松井警務局長は昨日午後六時より來京中各道警察部長を京城ホテルに招待して晚餐會を開きたりと云ふ

●阿部事務官出張

度支部理財局阿部事務官は咸鏡南北道へ出張を命せられ約一ヶ月豫定にて十九日伊藤主事を隨へ出發の筈

●陸軍御用船入港

御用船南越丸は十四日宇品より仁川に入港し十五日大連へ向ふ

●記者團の懇親會

仁川新聞記者團は昨十六日午後七時より懇親會を開催したりと

●警察部長の通過

全南警察部長村上則定黃海道同隊軍吉浦氏は一昨仁川を經て入京

●梅田技師の出張

農商工部技師梅田氏は度量衡會議出席の爲本日出發東京に向ふ

●柳田技師の出張

農商工部山林局技師柳田氏は渡邊山林調查の爲め出張せり

●隈本書記官引籠

學部第二課長隈本繁吉氏は微恙の爲め目下引籠中なりと云ふ

●山道叶川氏歸京

伊堂死去の報に接し歸省中なりし山道叶川氏は一昨夜歸京せり

公人私人

▲野手耐(元山稅關長) 入京中十五日歸任

▲遠藤源六(海軍省參事) 十五日仁川へ

▲本田幸介(水原模範場長) 同上歸原す

▲內田竹三郎(滿韓實業協會主幹) 同釜山へ

▲須藤素(平壤財務局事務官) 十五日入京

▲曲尾辰二郎(鐵道院技師) 同三日月へ

近事片々

▲東電は日淸協約に就て露國の躍起吉林人の頑迷抔と報じ來る彼等の誤解も甚だしい

▲露國は今回の日淸協約を以て露國の利益を危ふするものとするもそは甚だ見當違ひ

▲之が爲に滿洲蒙古の國境に守備兵を增派する抔とは大國民に不似合な心平氣なれ

▲吉林人が吉會鐵道に猛烈の反對をなす抔は少々狂氣の沙汰是日本の眞意不解の爲

▲日本の計畫經營は總て是れ東洋の平和を確保し東洋の利益を增進するが爲ぞかし

▲間島領土權の一步も此點より來る徒に

▲露國も吉林人も猜疑の念を脫して判斷せよ

▲露國は今回寧古塔渾春より浦鹽ニコリスクに達する鐵道布設を淸政府に申込びと

▲果して事實か否は知らざるも世界交通の爲に喜ぶ日本は決して故障は言はざらむ

▲埃及上海間に大鐵道を布設して西比利亞線と競爭せんと企つる者ありとは事實か

▲是も亦世界交通の利便を增す爲に喜ぶべき事也實行さるれば東洋西洋の利益たり

▲羅南兵營の建築竣成近きにあり十月中旬より兵士の輸送開始さるべしと報せらる

▲北韓の重鎭として羅南兵營の效功は大に意を强うするに足る從て北韓の開拓進步せむ

▲吉會線布設の曉は北韓は最も有望なる殖民地たるに至らむ國防の上にも此事肝要

▲大同派代議士安達淺羽等韓國に渡航事業の計畫をなさんと云ふ是は甚良き思付也

▲牧畜業には韓國は最も適當なるべきか此種の起業續々來りて放資經營するを望む

▲老朽領事の大淘汰近々行はるべしと譯ケ關としては近頃の英斷果して事實なりや

▲領事は居留地の殿樣然たる時代は既に過去る今は多少の商機に通ずる人物を選め

▲徒に學校出のハイカラを領事として居留民を困らする勿れ領事は商賈保護が役目

▲人乳は牛乳に幾倍優ると今回獨逸邊の學者等說く日本は昔より人乳を以て最とす

▲西洋人の言ふ事雖轉常なし味噌濡が毒になつたり藥になつたり恰も猫目の如し

●大韓商務組合の擴張

十三道に於ける負擔商の團体を以て組織せ

●虎列剌患者累計

虎列拉病初發以來累計二百二十二名中韓人百八十四名日人[illegible]七名仁川九月三日初發白九名內韓人百六名十五日新に廿五名發見新義州管內八月二十[illegible]內韓人二十一名開城一名なりと云ふ

●惡疫流行ご注意

警視廳は惡疫流[illegible]或は死亡の個所又は家屋管理者は速に書面又は口頭を以て警察署又は巡查派出所或は[illegible]十圓以下の罰金に處斷せらるべし

●奉敬會ご敬義會

神宮奉敬會より[illegible]義の下に合併せんことを申出でたりと云ふ因みに奉敬會は近時頗る盛況に向ひ各地方

[illegible]氣脈相通じ大に會務の擴張を圖る筈

[illegible]すれば京城八月三十一日初發十八名內韓人[illegible]初發三十二名內韓人二[illegible]十八日初發二十四名[illegible]何病を問はず死者ある時は其戶主又戶主不在の時は其家族又家族不在の時は其同居者[illegible]り又吐瀉急性下痢の患者に對しても同樣若し本令に違反する者は十日以下の拘留又は[illegible]

[illegible]又々韓成主宰の神宮奉敬會と合併せんと[illegible]て既に高橋氏は韓成主に對し神敬義會の名[illegible]

●幼女を虐待す

▲迷兒の身許判明

原籍東京府下南葛飾郡金町村大字元金町千七百二十四番地當時京城古市町十四番戶居住平民運送業蛭間龜之助(三十)は一昨十五日代人池田長次郎を南署に出頭せしめて女兒の搜索願を差出したれば掛官は目下同署に保護を加へつゝある女兒を見せたるに相違なき旨申立てたれば直ちに龜之助を同署に召喚して尋問したり

▲全身殴打傷　女兒は去十四日以來南署小使部屋にて保護を加へ置きたるに女兒は出入の多きを見て敢て畏怖するの狀態なく又兩親或は扶養者を慕ふの情も見えざるを以て田部警部は女兒を裸体にして其身体を檢せしに驚く可し未だ發育せざる三四歳位の女兒の左右頰部及臀部に著しき鬱血あり尙右手食指に新しき火傷の浮腫と腕に生々しき灸の跡を存し又腹部及び臀部に無數の搔傷を負ひ居り

▲母親の虐待　田部警部は女兒に向ひ「この傷は誰れに負はされたにや」と溫顔を[illegible]

▲浦鹽へ出稼　[illegible]

▲釜山に來り　[illegible]

▲故郷の本妻　[illegible]

をして居るところ突然とよの親父民次郎が龍山在住の知己の元に來りて自分の年來の不埒を列舉して離緣話が持ち昇りしが遂にとよは頃日少し精神に異常を來し前記の女兒を虐待するにぞ斯くは小兒心に甚く母を畏怖して家出したる次第なりと述べたれども尙前後不審の點もあれば引續き取調中

●仁川の虎疫彙報

▲益々猖獗を極む

▲百名以上に達す　仁川署員及び民團係員其他各衞生係員等は殆ど必死となりて防遏に努めつゝありと雖も病毒散蔓の區域擴大なる爲め如何共手の着けようなく其後の新患者をも加へて初發以來百十餘名に及べり

▲病源地は終熄か　二宮警部は巡査二十名を引連れて病源地永宗島方面に於ける檢病的調査の爲め急行したる由は既報の如くなるが聞く處に依れば同島方面には案外新患者[illegible]にて終熄の模樣ありと云ふ

▲船舶內の新患者　仁川港內の各船舶に對しては嚴重なる警戒を施しつゝありたるが一昨日工事部所屬の土運船內に韓人一名の該患者を發見したれば直に同船は沖合に離隔し患者は假收容所に收容したりと

▲露店の營業停止　仁川公園下の露店は昨日限り暫時營業を停止されたり

▲市內の大淸潔法　市內に於ける大淸潔法は理事廳令に依り昨日より二十日迄嚴重に施行せらるゝ筈にて市內の水汲人夫四十七名に對しては每日健康診斷を行ひつゝありと云ふ

▲[illegible]　[illegible]義州の虎疫流行地に[illegible]防援の爲め今明日中[illegible]韓人部落に於ても臨時[illegible]四十名の委員は韓人夫を使役して極力豫防に努力しつゝありと云ふ

●郵便局員の官金費消

▲金額千五百圓に上る

原籍長崎縣北高來郡諫早町正願長男當時住所不定[illegible]と云ふは過る三十七[illegible]務員に奉職中西村ち[illegible]日二十圓を引出して[illegible]十八年釜山に上陸後[illegible]名して諸所方々を徘[illegible]十二月慶尙北道延日[illegible]事務員として甘く入[illegible]と云ふをまんまと籠[illegible]六月まで地方に於け[illegible]約千圓を猪呂魔化し[illegible]の抱酌婦お千代及び[illegible]ぬ顔にて濟まし込み[illegible]事露顯の虞あるより[illegible]に手を取りて同地を[illegible]十圓の納税金を拐帶[illegible]浪津等の各地を經て去る六月廿日仁川に來り京町二丁目の新步一牛肉店の二階を借りて表面は熊本市坪井町田中正一同妻ウメと詐稱し夫婦氣取りにて暮し居たるも座して喰へば山をもの譬へに漏れず何時しか懷中無一文となりたるにぞ右梅子を龍山桑町井筒へ前借三十圓にて酌婦に住み込ませ自分は田舍に入りて再び惡事を働かん決心にて京城通りの韓人旅宿に泊り居りたるを仁川署刑事に嗅ぎ知られ去る十三日取押へられて目下取調中なるが右官金費消犯の外餘罪ある見込なれば引續き取調中なりと云ふ

●紡績女工の誘拐

原籍愛媛縣西宇和郡伊方村の內緒浦千百七十五番地平民田中辻松六女ねい(二十)は親族なる松山市大字三番町郵便局前後藤幸吉監督者となりて同地松山紡績會社の女工に雇はれ寄宿舍に寢食して働き居りしが八月上旬大坂地方の誘拐者に甘言を以て籠絡せられ密かに寄宿舍を拔け出でたれば幸吉は大に驚き百方搜索中の處意外にも同人は京城太平町一丁目九州樓に酌婦となり稼ぎ居る旨通知に接し一時も早く歸宅する樣再三促せしところ既に同樓に金六十餘圓の負債ありて歸宅六ケ敷由返事ありたる故若し正當の負債なれば當方より送金返濟すべきに依り一應ねいを召喚して實否取調の上尙ほ相當保護ありたき旨前記幸吉より十五日同人の戶籍抄本並に寫眞一葉添へ西部警察署に願出たり

●俗調●

▲虎列拉豫防の歌(中)　魚遊痴史

凡て食物は能く煮て燒て　うして喫るが安心なるよ
兎角果物は消化が惡るい　消化不良けりや下痢する原よ
少したりとも腹の加減　不調い樣なりや一時も早く
速くた醫者の診察受けな　素人療治や祈禱や加持や
賣藥なんぞに迷ふちや不宜ぬ　隱しだてして病氣が重もり
隣り近所に噂さが立つて　警察で發覺されたるときは
最早手後れ取返しや付ぬ　哀れ果敢なき悲しいことに
成つたからとて誰怨まよぞ　自分一家の不幸はれろか
延いて一町一郡一縣　つまり國家の不幸じや無いか
今や虎列拉が彼此方流行る　油斷めさるな我が同胞よ

●カルボの哀訴

西部仁達坊衙門洞六統八戶朴雲景方に三年間の契約にて娼妓稼業をなせし京畿坡州郡生の金召史(二四)は十五日午後六時西部署に出頭して申立つる顚末に依れば最初金三十圓にて身を朴方に沈め爾來三年間病氣もなく稼ぎたるにより朴は約二百圓程の收益を得居る筈なれば過日原籍地より迎ひの爲め出京せる老母と歸りたきに付主人朴に其旨相談するも朴は頑として其請求に應ずる景色なきのみか近來嚴しく自分を虐待するに付き說諭ありたしとのことに即時朴を呼出し懇々其不心得を諭して金は一先づ老母に引渡して利談せしむ

●美人の雲隱れ

熊本縣熊本市木戶組町四十一番地士族吉岡鐵熊妹當時京城南山町三丁目百四番戶川西彌三郎方滯在久保田さだめ(二三)は去る九月午前七時某所によき奉公口があるから一寸問合せて來るとて不斷着の儘外出し未だ歸り來らず心當りの箇所は隈なく搜索せしかど不明に付き搜索方十五日西部署に願出で尙ほ近隣の噂に依れば同人は吉岡の姓を名乘り或は長谷川町邊に潛み居るかも知れずと

●疑しき變死韓人

仁川朱安面紅峴に一見商人体なる年齡四十四五才の韓人が何者にか殺害され居たるを發見して去る十日仁川署に屆出でしものありしかば警官出張の上假埋葬に附しある屍体を掘出して撿視したる處前額部に致命傷を發見し他殺の證據充分なるより目下犯人を搜査中なりと

●仁川の赤痢患者

仁川本町一丁目慶田組雇人汾湯榮次は一昨日赤痢病に罹りたれば直に避病院に收容し嚴重なる消毒を爲したりと

●韓泥棒の四苦兒

去る十五日午前九時宇都巡査は龍山坊靑坡三契二十三統二戶劉平七方の前通を警戒巡邏中里石橋三十六統七戶居住韓明西(三十)が徘徊し居る擧動不審なるを誰何したるに同人は十五日午前四時頃古市町番戶不詳材木商和田佐市方裏棚を踰ね倉庫內に積みありし四寸角松木十九枚を竊取し自巳に隱し置き只今該贓品の買手を求めつゝある旨自白したるが尙餘罪ある見込にて目下引續き取調中なりと

●只飮んで亂暴す

去る十五日午後八時餘慶坊紫門洞統戶不詳朴春柚(四〇)は隣家なる酒店金召史方に至り鰻腹酒を煽りて代金を支拂はず金と口論を始め果ては兩人大道にて組打をれつ初めし折柄巡回中の李巡査が認め說諭を加ねたるに却て朴は警官に罵言を放ちたるを以て職務防害の廉にて本署に引致翌朝七時厚く說諭して釋放す

●怪しき男の拘引

仁川栗木統戶不詳鄭昌龍(十八)は十五日午後三時頃南大門停車場を徘徊する擧動不審なれば同所詰合山村巡査取調べたるに同人は金五圓七十錢を懷中し其言動益々怪しき點あるに依り尙內偵を要する廉ありと認め其儘檢束せらる

●公判だより

今十七日法務院に於ける公判左の如し

▲刑事　詐欺取財被告人戶田新藏、竊盜被告人梅津伊三郎、橫領其他中谷駿市、竊盜被告人川崎丑松

演藝

▲歌舞伎座　愛澤一座本日の替りは彼の有名なる土佐土產腰辨當野村實夫にして役割は左の如くなるが愛澤の野村は見物なるべしと

仲居とく(西井)下宿女將れせつ、ちほ六造(桂木)藝妓小三(河野)學生月岡(川上)馬丁長吉(角村)令孃芦本水江(中村)僞紳士貫次(大和)署長松本(楊村)刑事三浦(天草)巡查倉田(三島)陸軍中佐芦本(美崎)小木曾義忠、易者山本(篠崎)野村虎夫(愛澤)車夫熊造(小濱)

吉凶鏡

本町五丁目　三一館判斷

九月十七日舊八月三日八白佛滅庚辰あやぶ△一白●世話事保證を愼しむべし水利土木等は大に凶△二黑●共同組合婚姻等最も吉主取り仕官猶吉其他平穩△三碧●音信凶報を齎らすあり交際上離間爭論あり△四綠●不利の事多し大なる賣買取引新事見合すべし△五黃●中運なり酒色賭事を愼しみ業務上或る懇談をなすは克く整ふ△六白●他人より容疑にあふあり地方郷里に引退するによろし△七赤●契約談判等對人事談は克く整ふ色情痴情を愼しむべし△八白●創始改變の事害あり建築土工の業には吉△九紫●謙讓を守るべし之に反して害損を來たす訴訟談判は延期利有り

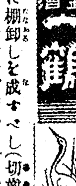
右は概括的判斷なり各人格別に付ては直接同館の鑑定を請はる可し

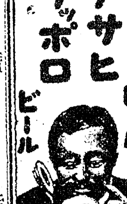


◀平民文庫▶

▲大和町邊の新聞記者さん達が飮食遊興費不支拂同盟會とか云ふものを組織せられたとか云ふことは事實ですか(東洋)●▲何日の事であつたが本町一丁目の安德精肉店の廣告中に「肉かしわぶた」とあつたが其肉は何肉を意味するのかかしわが鷄肉ぶたが豚肉、肉一字ではとんと判明せぬまさか印肉と曲解もすまいが夫れ共黃門は水戶に、名奉行は大岡に、太閤は秀吉と洒落ましたかね(苦馱)●▲拜啓此頃開業した高田家と云ふ料亭餘り噂さが高いから一寸呑にいつたら成程景色は京城一で料理は手輕で安い其の上にかみの愛嬌ときたら天下一品であろふ一寸音信を致します(本町一丁目實見生)●▲昨夜南大門邊で二人の紳士が立話をして居つた其の要領は愛光舍が居つたら今冬より來春にかけ〇〇をやると言のらしかつた(立聞生)●▲安東病院邊にドロボウが住んで居るよ注意し給へ(旭町住人)●▲唯り旭町計りぢやない何所に何うして居るか知れたものではない(小僧)●▲大阪大火近江震災義捐寄附演藝會龍山座三日目を鳥渡聽いたが出演者諸君は兎に角勞力寄附の目的(但其實口かで自慢の己惚會かも知れぬが)だから實に御志は善哉々々藝評は概して上出來併其內不都合な奴輩は八重太夫だ何故なれば已れは他の演者と違ひ幾分系代とか何とかの名[illegible]

[illegible]目の下に謝儀を受ける純韓人で在り乍ら叶君の堀川で其合の手中に「アコリヤ」との掛聲をした何所の淨瑠璃に「アコリヤ」と云ふ掛聲がある馬鹿にするナ褒老ぼれ奴(天狗の孫)●▲分隊長及管區長殿等に告ぐ、近頃田舍の憲兵等は品行方正にあらずして且つ亂暴で困る切めて同邦人丈け位いなりとも幾分の愛情を以て貰はねば困る丸で狂人の樣です少し注意を乞ふ此後尙は直さゞる時は大に棚卸しを成すべし(切齒憎怒生)▲十五日の貴紙地方欄報欄に軍司令官の來着を報じありしが一体あれは何處に來着されたのか私には何うしても……(和歌關)▲平民文庫漸やく振つて來た樣だぞ愉快々々(煙酌玉)▲秋冷と同時に諸君が振はるゝから(係)▲三一館の御親切なる御判斷を謝す余は貴館の御判斷を深く信じて疑はざるもの然し大韓日報の『明日の曆』にある六曜星は不相變貴館のと違ひ居るは妙(敬神家)







各種洗濯石鹸專門製造販賣

用途　陸軍、鐵道、船舶、鑛道、鑛山、水道湯屋、散髮、諸工業用

京城旭町二丁目（電話九七三番）

朝日石鹸製造所

▲無料紹介欄▼

人事部

●求職　多年小學教育に從事せし者至急相當の職業を求む但給料多きを望まず　氏名在社（四三一）

●被雇たし　中學二年修業年廿五個人商店に被雇たし　氏名在社（四三五）

●雇入　鳥類剝製に經驗ある者至急雇入れたし　氏名在社（四三八）

●年廿四體强大阪商業學校中途退學數年古着商に從事せし者相當の商店に雇れたし　氏名在社（四四〇）

●年廿二生來繪畫に多大の興味を有するもの寫眞館に雇れ技術を見習ひたし確實保證人あり　氏名在社（四四一）

●被雇度し　病人看護に經驗あり年四十二女　氏名在社（四四二）

物件部

○龍山電話格安に至急讓渡したし　氏名在社（四三三）

●龍山未設電話賣却又は貸渡したし　氏名在社（四三四）

●迷犬　雌犬毛色頭及尾茶褐色胴体は白黑斑點右迷込有飼主心當の者は至急本欄係へ

●未設電話讓渡したし　氏名在社（四三七）

若草町中央に地反二百坪餘一坪に付二圓內外を以て賣却す希望者來宅あれ　永樂座横　本田

本町赤門を起點として五間を距らぬ上等韓人建家土地共一坪五圓內外に賣却す望の人來宅あれ　永樂座横　本田

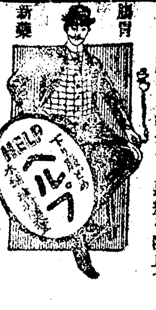
廣告

涼しくなつても油斷は出來ぬ

御承知の通り、何事でも植えた種は秋に刈ます通り、病の原因は遠いもので、夏蒔た腸胃病の種子は、是から生て來るのです、涼くなつたからと油斷は出來ません

●赤痢●虎列剌●窒扶斯等の惡疫は毎年秋冷の候に却て流行致します

▲腸胃の弱き人は勿論身體の健康を誇る人も朝夕二錠宛のヘルプを用ひよ腸胃を健全にし惡疫を防止す……



腸胃新藥

定價　十錢、廿錢、卅錢、五十錢、壹圓

效能　●痢病●腸加答兒●赤痢●時候あたり●水あたり●食傷等一切の下痢を止め腸胃を整へ腸痛を治す

本舖　東京日本橋通四　津村順天堂

消毒防臭劑

クレシン

京城本町二丁目　四ヶ所洋物店　電話三三一番

軍旅必携

MORITA'S HŌTAN.

大學東校免許　起死回生　寶丹

守田治兵衛

MORITA JIHEI.

濟世至寶

代理店

京城南大門通三丁目（九百四十六番）　新井藥房本店

京城本町三丁目（電話四七八番）　新井藥房第一分店

京城南大門外　新井藥房第二分店

電話開通　三百貳拾九番

牛豚鷄肉卸小賣　大販賣

本町一丁目三巴酒店前　たからや

明治町一丁目　石田精肉店出張所　電話千〇四十二番

荒物世帶道具一切

大坂製白絞油和洋蠟燭和傘岐阜提灯魚釣道具　卸小賣

地方在住の各位には御申越あり次第代金引替證付又は代金引替小包郵便を以て御送付申上候尚弊店營業品目錄御入用の御方は御通知あり次第送呈申上候

荒物世帶道具　各國諸油米穀　銘酒澤龜アサヒサツポロ麥酒　並に買次業

京城本町六丁目　西崎嘉七本店　電話長二一〇番（二カ又は二）　振替貯金口座東京（九四一七番）

移轉廣告

正札より一割引

弊店儀大方各位の御引立を蒙り日々繁榮に赴き從來の店にては手狭を感じ候に付今回左記之場所に移轉し一層業務を擴張して御得意様方の御便利を圖り聊か平素御愛顧の萬分の一に酬ん爲め移轉の御披露として向一週間正札より一割引仕候間何卒一層御用命の程奉懇願候

九月十日



京城本町二丁目　富田製靴店

京城本町六丁目　電話九一九番　富田製靴支店

食道樂　さかね家

壽町二丁目　●　電話九四四

些も猥がましき分子を含まず

調理と設備の氣の利いた所を命として賣出申候

高尙にして而かも華美に流れず

紳士淑女を俟つに耻しからぬも極めて質素を旨とし

萬事御手輕を專一といたし候

尤も趣味深き娛樂場として

御心置なく一日の御清遊に適すべく風呂及び娛樂器の備へいたし候

●品質純良の牛乳を得んとせば乳牛の食料に注意を要す弊場夙に此に留意し好良の食料を給す

●弊場搾取の牛乳を愛飲せらるゝ御諸君は最も滋養豐富風味佳良の牛乳を飲用し得らるべし

京城本町五丁目（電話□□番）

販賣元川に松尾支店

京城東四軒町

搾取所　松尾牧場

待合

京城南山町一丁目病院前

東門前三十銀行ノ横ヲ下ル

増築落成

まの花

電話一〇二五番

日韓印刷株式會社

營業科目

活版、石版、銅版　各種印刷　帳簿裝釘、書籍　製本及ビ印刷　諸材料販賣

遍ク諸材料ノ精撰ヲ計リ期日ノ正確ヲ旨トシ最モ敏活ニ最モ低廉ニ御高需ニ應ジ候間多少ニ不係御注文ノ程希上候

本社　京城明治町三丁目　電話三二三番

出張所　東京麹町區麹町八丁目十九番地　電話番町二九〇番

東京火災運送海上保險株式會社

明治廿年七月創立　資本金一千萬圓

●京城代辨店　本町四山口吳服店　電話九番

●事務所　京城本町二の三　電話一〇六〇番



京城光化門通　淺田洋服店　店主　大島專藏（電話四百十二番）

胃腸消化新劑

澱粉消化　ヂヤスタリン

蛋白脂肪消化　ヂゲスチン

錠劑十日分（三十粒入一瓶）二十錢

散劑一オンス入（一瓶）一圓二十錢

錠劑十日分（三十瓶入一瓶）三十錢

散錠一オンス入（一瓶）二圓四十錢

右は最近內地に於て急激の需用を來たしたる名聲嘖々たる世界無比の理想的絕品にして所謂賣藥には無之候

各地有名なる藥店に於て販賣す

●大韓醫院御用藥

韓國一手賣捌元　京城光化門通　大島專藏

綿わたワタ

たやすくうります

ふとん地色々、ふとん調進、太物類、洋反物類

卸問屋　京城明治町一丁目四ツ角　唐川商店　電話二六一番

待合　のしく

◎牛乳　純良　消毒　檢査濟

韓國畜産株式會社　南大門外（電話八八番）

日本郵船株式會社

流船川仁出帆廣告

仁川海岸通　電話三九番　貨物及船客取扱店　郡回漕店

◎釜山長崎門司神戶行
山東丸　九月二十六日午後三時出

●大連、芝罘、牛莊行
高砂丸　十月十四日正午時出

●大連、大沽、牛莊行
山東丸　九月十二日午前四時出

◎大連、大沽、牛莊行
酒田丸　九月三十日正午時出

●釜山出帆、元山、清津、浦鹽行
立神丸　十月六日午後出

御注意　御乘船ノ際ハ稅關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ解纜ノ事

●新聞料　▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵稅一ヶ月金拾參錢

●廣告料　▲五號活字十九字詰一行一回五十錢▲廣告五號活字十九字詰一行金六十錢

發行兼編輯人　高木久太郎

印刷人　藤久神一郎

發行所　京城新報社　京城西署西小門洞　電話六六三番